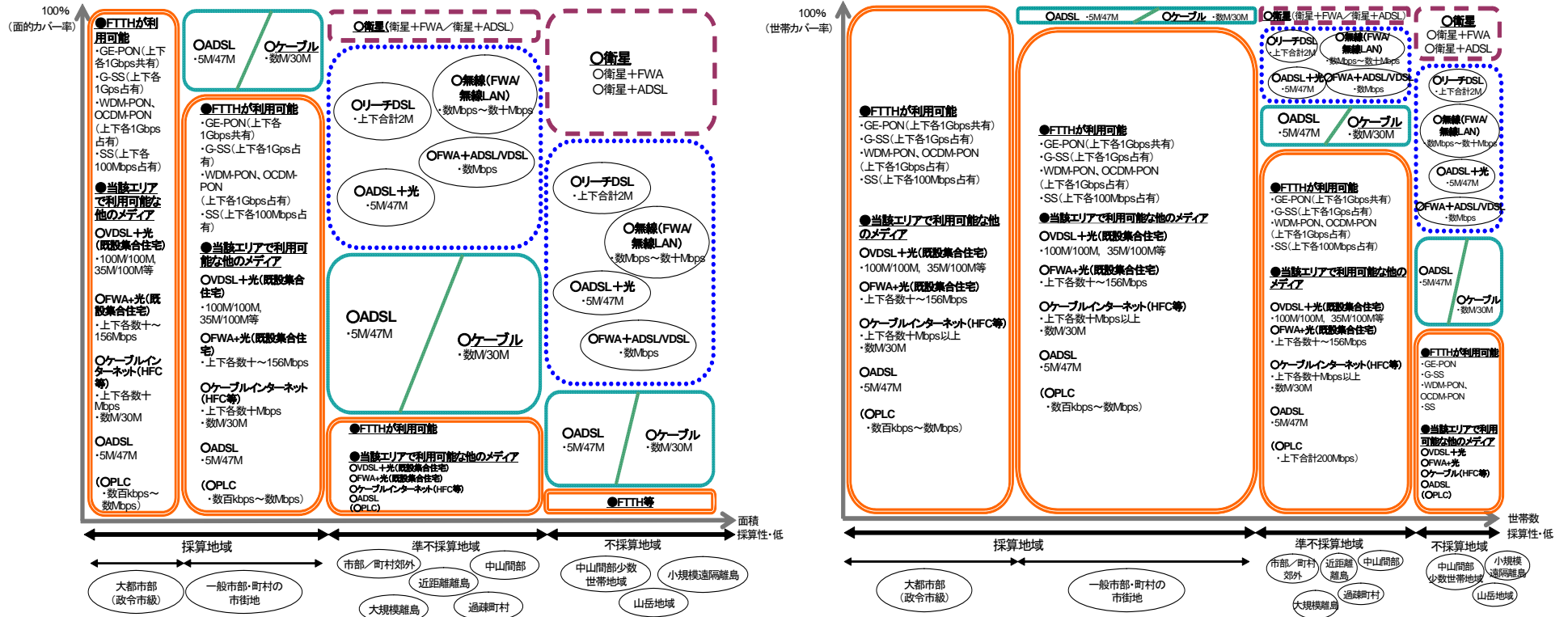


面的カバー率ベース

世帯カバー率ベース



- 注1: この「青写真」は、事業者にとっての採算地域から不採算地域まで、全国のあらゆる地域でブロードバンドが利用可能（100%の国民が利用可能）となった場合における各メディアの利用可能性の関係を表示している。例えば、大都市部等採算地域（図の左側部分）においては、FTTHがほぼ100%の地域で利用可能であり、採算性が低下する（図の右側へ進む）に従って利用可能世帯率が減少する。また、FTTHが利用可能な地域においては、ケーブルインターネットやADSL、あるいはVDSL+光やFWA+光等、他のメディアも利用可能である。FTTHが利用できない地域においては、ケーブルインターネットやADSL（リーチDSLを含む）が利用可能であったり、FWAや衛星との組み合わせによりブロードバンド利用が可能となっている。
- 注2: 事業者にとっての不採算地域や準不採算地域を含めて全ての地域において何らかのブロードバンドが利用できる状況を示していることから、民間の需要見合いでの整備のみならず、地方公共団体による直接整備や事業者への支援措置、国による地方公共団体・事業者に対する各般の支援措置等を加味した整備状況を示している。
- 注3: PLCの伝送速度は、諸外国におけるサービス事例による。